

# 認知症の人の経過に沿った連携と 支援体制づくり ～認知症の人と家族を支える地域づくり～



京都府舞鶴市福祉部  
高齢者支援課相談支援係  
児玉 智子



このたび、舞鶴引揚記念館所蔵品が  
ユネスコ記憶遺産として  
登録されることが決定いたしました。

# ユネスコ 世界記憶遺産

舞鶴引揚記念館所蔵品

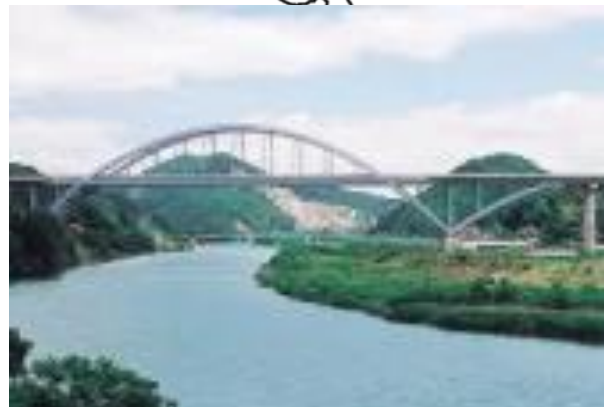


ご支援ありがとうございました。



## 舞鶴市の概要

軍港から発展した東舞鶴、城下町であった西舞鶴  
由良川沿いに広がる加佐  
漁村・農村・市街地・住宅地が入り混じり、地域ごとに特性が違う。



かまぼこ  
万願寺とうがらし  
肉じゃが  
岩ガキ・とり貝  
赤レンガパーク  
引揚記念館

## 京都府舞鶴市の概要

人口 84,115 人 (H29.4)

高齢者数 25,800人 (H29.4) ※高齢化率 30.67%

要介護認定者数 (第1号) 4,813人 (H29.9)

※要介護認定率 18.7%

認知症高齢者数 3,044人 (日常生活自立度Ⅱ以上) (H29.3)

介護保険料基準額 第6期 63,520円 (5,293円/月)

地域包括支援センター 7か所 (直営1・委託6)

認知症疾患医療センター (舞鶴医療センター) 1か所

精神科単科病院 (東舞鶴医誠会病院)

総合病院神経内科 (舞鶴赤十字病院)

医院 (4か所)

### 【体制】

高齢者支援課相談支援係 (事務職2 + 保健師6 +  
直営地域包括支援センター4)

認知症地域支援推進員 3名 (市保健師) 兼務

# 舞鶴市第6期高齢者保健福祉計画（H27～H29）

施策目標 「生き生きとした長寿社会づくり」  
地域包括ケアシステムの構築

- 1 地域での自立生活支援の仕組みづくり
- 2 高齢者の社会参加と生きがい・健康づくり
- 3 介護予防の充実
- 4 適正な介護サービスの提供と家族支援
- 5 介護サービスを担う人材の確保
- 6 認知症高齢者支援体制の整備

# 認知症地域支援推進員の役割

## ◎ 認知症施策全般に関与

ビジョン「認知症の人と家族を支える地域づくり」

○ 各施策・事業担当者・関係者のつながりをつくり、目標を共有できるようにすること

→ 認知症医療連携実務担当者会議

認知症初期集中支援チーム検討会議・カフェ担当者会議

○ 認知症施策の課題把握・施策立案

ガイドブック（ケアパス）作成・認知症初期集中支援チーム立ち上げ

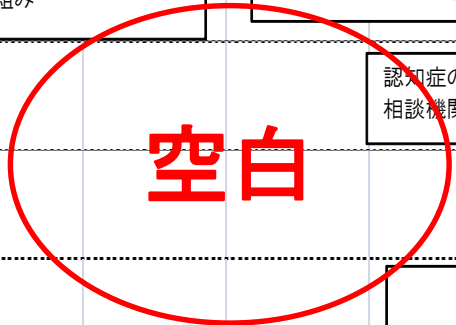
○ 認知症施策の普及・周知

# 平成23年度 モデル事業終了→地域支援事業で実施

事業は、たくさんこなしたが・・・

23年度 認知症対策事業計画「認知症の人と家族を支える地域づくり」

	健康				発症		軽度		中度		終末期	
	介護予防事業対象者				要支援1						介護5	
住民	認知症の正しい理解の普及・啓発											
本人	健康づくりと一貫した介護予防事業 認知症予防の取り組み		早期発見・早期治療開始 軽度認知機能障害への対応						地域で支えるしくみづくり・連携の強化			
家族へ			認知症の病気・対応について理解 相談機関を理解・孤立化の防止				家族同士の支え合う場・ストレスの軽減					
福祉・保健									認知症対応力の向上			
医療					早期受診・早期発見(認知症専門医の周知・かかりつけ医との連携)							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域型認知症予防プログラムのモデル展開</li> <li>健康づくりと一貫した介護予防事業</li> <li>認知症サポーター養成講座の拡大</li> <li>キャラバンメイトフォローアップ研修</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症相談ガイドの作成(診断後に認知症や相談窓口について理解)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症サポート医による専門研修</li> <li>認知症サポート医によるケースワーク</li> <li>家族介護交流会</li> </ul>					
					認知症ケアネットワーク会議							
スケジュール	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	認知症サポーター養成講座											
					キャラバンメイトフォローアップ研修							
							地域型認知症予防プログラムのモデル展開					
					認知症サポート医による専門研修(2回) ⇄ ケースワーク(12月・2月)							
					認知症医療疾患センターとの連携(京都府)				相談ガイド作成			
			家族介護交流会									



ガイドブックの中に・・・認知症の経過に沿った支援体制(認知症ケアパス)

舞鶴市にある資源がつながりあって一人ひとりを支えるために

発症期

症状多出期

身体症状  
複合期

ターミナル  
期

サロンdeすとれっち

認知症予防プログラム

居宅介護支援事業所、介護保険、福祉サービス

カフェ

小規模多機能・グループデイ・グループホーム

認知症初期集中支援チーム

老人保健施設・特別養護老人ホーム

かかりつけ医・地域包括・市役所・民生委員

かかりつけ医往診・訪問看護

かかりつけ医・認知症疾患医療センター・専門医療機関

舞鶴医療センター・東舞鶴医誠会病院(認知症治療病棟)

認知症介護家族のつどい

日常生活自立支援事業

認知症サポーター養成講座

成年後見制度

舞鶴はいかい老人等SOSネットワーク





が、この先の経過の中で、大まかな位置を知り、今後を見通す参考にして下さい。

	身体症状複合期	ターミナル期
る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●歩行が不安定になる。</li> <li>●着替えの動作ができない。</li> <li>●声かけや介護を拒む。不快な音を立てる。</li> <li>●尿意や便意を感じにくくなる。</li> <li>●飲み込みが悪くなる。食事に介助が必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●言葉が減る。</li> <li>●日中うつらうつらする。</li> <li>●口から飲食物が入らない。</li> </ul>
	過去に獲得した記憶を失い、若い頃の記憶の世界で生きる。	
	親しい人や家族が認識できなくなる。	
	<p><b>◎身体管理を十分に</b>            体調が変化しやすい時期です。水分が適切にとれているか?必要な食事がとれているか?便秘や下痢などはおこしていないか?発熱していないか?など身体管理にも注意をするようにしましょう。身体状況の悪化がBPSDの原因になることも少なくありません。体調に変化があれば、早めに主治医に相談しましょう。</p>	
	<p><b>◎楽しむ</b>            その頃の生き生きとした気持ちがよみがえるので、自分の存在を実感し、</p>	<p><b>◎スキンシップを大切に</b>            ことばがうまく出なかったり、自分の意思を伝えにくくなります。また、声かけの理解も十分できないので、手を握る、背中をさするなどスキンシップを心がけ、安心感を与えるようにしましょう。</p>
ります。	<p><b>◎言葉以外のサインを大切に</b>            ことばがうまく出なかったり、自分の意思を伝えにくくなります。表情や手のしぐさなどから気持ちを読み取るように意識しましょう。</p>	
った りよ エ)員	<p><b>◎認知症が進行した後の備えを</b>            終末期の延命措置や栄養補給や医療をどの程度行うか、入院するかどうかなど、最期の時期をどこで迎えるかもきめてできるだけ本人の視点に立って相談しておきましょう。</p>	
	<p>デイ・グループホーム</p> <p>老人ホーム</p> <p>かかりつけ医往診・訪問看護</p> <p>成年後見制度</p>	

## 【配布先】

市役所窓口

地域包括支援センター

認知症疾患医療センター

開業医

認知症サポーター養成講座の  
テキストとして

# まいづる認知症相談ガイドブック (認知症ケアパス)

## <目的>

認知症の本人・家族に向けて、相談支援にかかる関係者が共通した情報提供が出来るようにすること。

## <どうして作成する事になったか？>

- \* 窓口で介護申請に来た方に対して、市役所職員が十分な説明が出来ない。
- \* 家族が認知症についてどうしていいか分からず困っている現状があった。  
(ケアマネジャーアンケートより)
- \* これからが理解できれば、家族も戸惑わなくてすむ。



# 作成の経過

「認知症医療連携実務担当者会議」で提案・内容を検討

※既存の会議を活用

## メンバー

舞鶴医師会

舞鶴医療センター（認知症疾患医療センター）

東舞鶴医誠会病院

京都府老人福祉施設協議会

舞鶴市社会福祉協議会

まいづるケアマネジャー連絡会

京都府中丹東保健所

地域包括支援センター

舞鶴市高齢者支援課

経過に沿って、それぞれの役割を  
共通理解

年3回の実務担当者会議・年1回の連携協議会にて、検討

# 関係機関による意識共有

## 認知症医療連携実務担当者会議（月1回）

認知症の本人や家族にかかわる保健・医療・福祉・介護の関係者が集まり、意見交換や情報交換、事例検討を通じて、連携を強化し、舞鶴市における認知症施策の現状や課題を検討し、推進を図ること

事例の変化  
初期支援のあり方へ

ケアパスの普及・周知



定例会議 第3木曜日  
14時～15時30分

### 内容

- ・認知症にかかる勉強会
- ・認知症事例検討会
- ・初期集中支援チーム対応ケース会議
- ・認知症初期集中支援チーム検討会議
- ・その他

# キャラバンメイト（啓発）のつながりをつくる

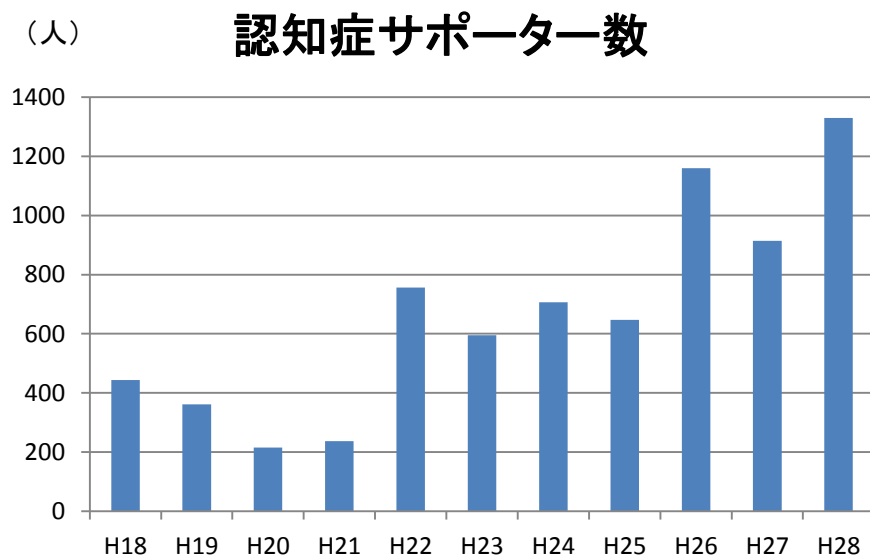
**H23年度から、年1回キャラバンメイト活動交流会を実施**

舞鶴市の認知症サポーター養成講座の実施状況や活動について交流  
地域包括・事業所・地域住民がつながる・・・



自主的にサポーター養成講座に取り組む事業所が増加。

小・中学校、スーパー、銀行・警察への講座開催へ  
個別ケースを取り巻く人向けに講座の開催



**本人や家族の気持ちを聴こう！ ダブルケア経験者による講演**

# 身近な地域での自主的な運動の場 サロンdeすとりっち

## 運動指導員を派遣します！！

時間： 1時間  
(6か月に1回程度、簡単な体力測定を実施します)

費用： 月4回実施の場合は3か月間無料  
月2回実施の場合は6か月間無料

※無料派遣期間以降は、月4回を上限とし、指導員1人につき1回  
1,000円の団体負担

	H23	H24	H25	H26	H27	H28
実施箇所	118	50	58	86	100	109
参加実人数	270	859	1,129	910	1,049	1,159
参加延人数	464	4,592	10,385	16,158	19,722	24,978



高齢者の22  
人に1人が参加

# 介護予防→見守り・支え合いの場へ

- 「今日あの人来てないね。忘れとるな。電話するわ。」
- 「〇〇さん、今日は検査やで」
- 身内の介護相談
- お互いの困っていることの話し合いから、使わないものの回収を
- 茶話会・昼食会への発展
- 世代間の支えあい。さりげない介助……

半年に1回、体力測定を実施。(市保健師・包括)  
→予防・早期発見・  
発症遅延・社会参加の場





# 運動の自主グループ



女性で認知機能  
該当者の参加が  
増えている。



認知症になっても、  
続けて参加しやす  
い場を



長いところは、6年目に突入  
物忘れが目立つ人もちらほら・・・  
体操の時間を忘れても、仲間の誘いが  
「忘れとるでー。おいでよー。」  
間違っても、笑っておけば大丈夫

# 介護予防をになう人材育成(ファシリテーターの養成)



## 平成27年度 はつらつサポーターを養成

「サロンdeすとおれっち」での運動指導を担ってもらうサポーター。

その他、転倒予防・認知症予防ファシリテーターの養成も継続中。

～市民が市民を支える仕組みづくりの一つ～

# 本人が力を発揮できる場を（げんき元気カフェ）

フリーマーケット  
で、手づくり小物  
を販売！



認知症カフェ 物忘れが気になる方 認知症を予防したい方 家族が認知症と診断された方

# カフェつうしん 10月号

**認知症カフェとは...** 通常のデイサービスではなく、本人・家族が気軽に集い合える場所です。



ゆったりお茶を飲んで過ごしたり、認知症予防の楽しい活動を行ったり、本人のできる事・やりたい事を尊重し、支援しています。相談もできます。気軽にお越しください。



## げんき 元気カフェ

先月は  
生地とソースを手作り  
ピザを作りました★

### ●10月の予定●

- 4日 病気を予防する生活習慣
- 11日 スイートポテト作り
- 18日 茶話会
- 25日 えくぼの会【介護保険でできること】



1家族  
300円

毎週水曜日 10:00~12:00  
場所：丸山の家 2階（丸山町23-1）  
☎77-5890 バス下車 丸山口

## 下福井の隠れ家 青春Cafe照

毎週木曜日 13時~15時  
まで開催しております。ご利用の方に  
応じて対応もできますのでご相談ください。  
ふらっと喫茶店に来た気分  
で来て頂ければよいと思います。  
是非ご利用ください。

### ●10月の予定●

- 5日、12日
- 19日、26日



1家族  
500円

毎週木曜日 13:00~15:00  
場所：デイ・ホーム和夢 2階（下福井928-3）  
☎78-1311 バス下車 とれとれセンター前

## i カフェ虹色

### 8月の活動紹介

8/24 毎年恒例  
かき氷大会を開催!!

年を重ねることにかき氷を食べる機会が減りますね。今回は皆さん童心に戻っておかわりされる方も見えました!!



9月、残暑が厳しいと思いきや、意外と涼しい日もあり、秋が近づいてきましたね。食欲の秋、という事でまた料理も取り入れていきたいと思っています。お料理の好きなご婦人もこそってご参加下さい!!

1家族  
500円

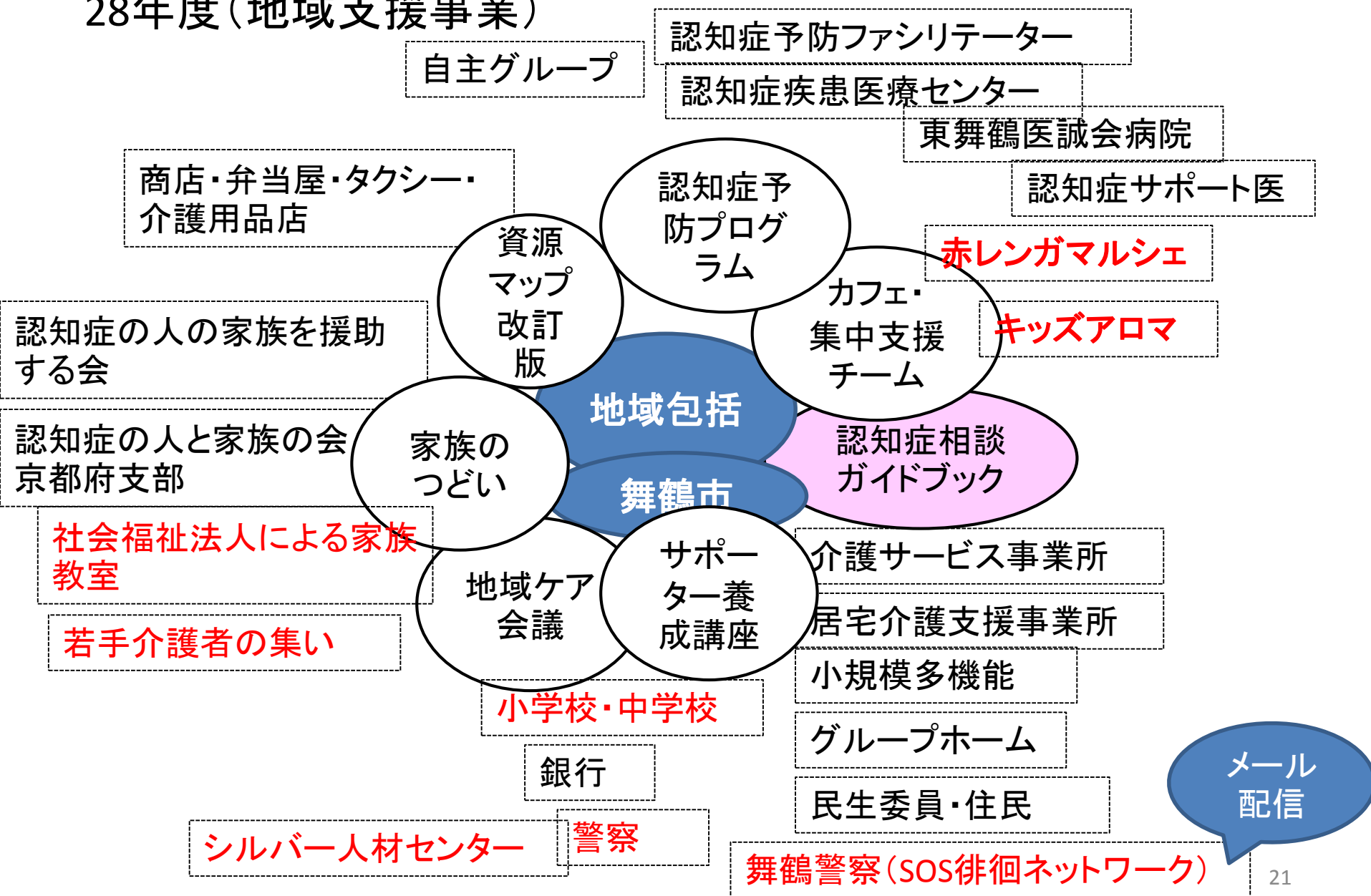
男性の利用者様にお世話になって、レディファーストでお楽しみいただきました。



毎週木曜日 13:30~15:30  
場所：東舞鶴医誠会病院内（大波下765-16）  
☎62-3606 送迎、ご相談ください♪

# これまでの経過とつながった資源

## 28年度(地域支援事業)



# 推進員として活動の課題

## ◆ 早期に診断された人の支援が、まだ、途切れている。

初期集中支援チーム・カフェがあるだけで、機能しきれていない。早期のケアが確立していない現状。→事例検討の場を通じて、初期の支援のあり方をつくっていく。

## ◆ 医療との連携

かかりつけ医で認知症をみるケースも増えてきているが、介護との連携が十分できていない。

→在宅医療・介護連携推進会議

→実務担当者会議に、認知症サポート医への参加を呼びかけ

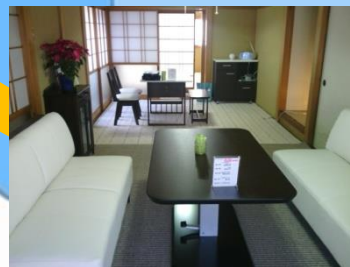


# 途切れないケアを目指して

発症予防・  
遅延

早期発見

見守り



● 地域の運動グループ

★マニュアルに縛られすぎないように・・・

自分の地域のあるものを使って、自分の地域のやり方を  
会議などは、既存のものを活用。

★共通の目的をもった人たちが、会って話せる機会を作ること。  
いいなと思った取り組みは、発表する場や表舞台へだして  
いく。広報紙への掲載、地域の出前講座等でどんどん紹介

★認知症になってからのつながりより、それまでのその人や  
地域のつながりの大事さを実感！